

森 林 整 備 促 進 事 業

帯広市

○帯広市は総面積の約40%を森林が占めており、戦後植林されたカラマツ、トドマツを主体とした人工林が利用期を迎えている。しかしながら、相続による世代交代や市外在住者の増加などで、所有森林の位置や状況を把握していない所有者が増えるとともに、整備が行き届いていない森林が増加している。このため、森林環境譲与税を財源として、所有者が現地に赴かなくても森林の状況が把握できるよう、森林情報の整備を実施した。



林相区分図



微地形強調図

帯広市の取組：

林相区分図の作成

事業内容

林相の現況を把握し、森林所有者への適切な施業提案を実施するため、林相区分図を作成した。

事業費

4,760千円（全額譲与税）

実績

5,256ha（調査対象面積）

スキーム



帯広市の取組：

森林基盤情報の整備

事業内容

市内山間部の地形、路網等、森林情報の現況を把握し、経営管理の支援に活用するため、森林基盤情報を整備した。

事業費

1,540千円（全額譲与税）

実績

52.03km²（調査対象区域）

スキーム



工夫・留意した点

- 林相区分図の作成にあたり、固定資産税担当部署が直近に撮影した航空写真のデータを活用し、経費の節減を図った。
- タブレット端末を1台導入し、現地調査時や森林所有者訪問時に森林情報をその場で確認できるようにした。

その他の

- 令和3年度においては、以下の取組を実施。
 - ・林相区分図の作成、森林基盤情報（微地形強調図、傾斜区分図、既存路網図等）
- 令和4年度においては、更に、森林資源の解析や森林健全性評価を進めていくこととしている。

【問い合わせ先】 帯広市農政部農政室農村振興課林業振興係／
☎0155-65-4173